

いしのまき

No. 86

市議会だより

令和7年8月26日発行

第2回定例会	2
各常任委員会審査報告	4
22人が一般質問で市政を問う	6
第2回臨時会	16
議会報告会の開催について	20



議場コンサート(Showboysによる演奏)

令和7年 第2回定例会

条例や補正予算など17件を可決

6月10日から26日までの17日間の日程で開催し、市長提出議案14件、人事案件2件、委員会提出議案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

提出された議案と審議結果



条 例 (原案可決)

- ・石巻市桃生地区小中一貫教育基本構想審議会条例
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例を廃止する条例
- ・石巻市職員の育児休業等に関する条例及び石巻市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市議会議員及び石巻市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例及び石巻市議会議員及び石巻市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市議会議員及び市長等の選挙における選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

予 算 (原案可決)

- ・令和7年度石巻市一般会計補正予算(第1号)
- ・令和7年度石巻市一般会計補正予算(第2号)
- ・令和7年度石巻市病院事業会計補正予算(第1号)

そ の 他 (原案可決)

- ・工事請負の契約締結について
(牡鹿保健福祉センター空調・換気設備改修工事)
- ・(東中瀬橋橋梁上部工新設工事)
- ・工事請負契約の一部変更について
(東中瀬橋橋梁下部工新設(その3)工事)
- ・訴えの提起について
- ・物損事故の和解及び損害賠償額の決定について
- ・損害賠償額の決定について



遠藤宏昭議長

人 事 (同意、選挙)

・公平委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて

↓佐々木功氏を選任することに同意

・選挙管理委員及び補充員の選挙について

〔選挙管理委員〕

↓亀井一彦氏、武山萬氏、今野一氏、阿部紀代子氏が当選

〔補充員〕

↓鈴木瑞彦氏、高橋真由美氏、安藤司氏、小林賢氏が当選

委員会提出議案 (原案可決)

- ・石巻市議会会議規則の一部を改正する規則



西條正昭副議長

第2回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します

可決した条例から

◆石巻市桃生地区小中一貫教育基本構想審議会条例

桃生地区においては、本年3月に3小学校を閉校し、4月に新生の桃生小学校が開校したところであるが、令和5年4月に中津山第一小学校、中津山第二小学校および桃生小学校のPTA会長の連名によるもののほか、本年1月に桃生地区まちづくり委員会から要望書が提出され、将来的なさらなる少子化を見据え、小学校と中学校が一体となった小中一貫教育の推進が桃生地区の保護者および地域住民から求められている。

このため、教育委員会の諮問に応じ、桃生地区における小中一貫教育の導入および推進に関する基本構想について調査審議する石巻市桃生地区小中一貫教育基本構想審議会を設置するため、本条例を制定するもの。

◆新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例を廃止する条例

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の死亡、重篤な傷病を負った方または主たる生計維持者の事業収入が減少した方に対して、新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例により、介護保険料の減免を行ってきたが、条例の適用期間および介護保険料の更正の時効期間が経過したことに伴い、本条例を廃止するもの。

可決した補正予算から

令和7年度石巻市一般会計補正予算（第1号）は、桃生地区の小中一貫教育基本構想策定に要する経費や、補助内示に伴う民間保育所建設事業費補助金のほか、社会資本整備総合交付金等により実施する各種事業費などの所要額を措置したもの。

また、（仮称）桃生こども園建設事業のほか、前谷地小学校屋内運動場改築事業などについて、債務負担行為を設定したもの。

令和7年度石巻市一般会計補正予算（第2号）は、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部改正に伴う参議院議員通常選挙および宮城県知事選挙の報酬などの所要額を措置したもの。

◆総務費では

- ・集会所建設費補助およびコミュニティ助成（宝くじ助成）事業に要する経費 1,923万円
- ・参議院議員通常選挙執行費の法改正に伴う報酬および県通知によるポスター掲示板区画数の変更に要する経費 729万円

◆民生費では

- ・就学前教育・保育施設整備交付金の内示に伴う民間保育所建設事業に要する経費 3億9,106万円
- ・なかよし保育園園舎建替に伴う併設予定の子育て支援センターの開設に要する経費 1,819万円
- ・釜地区第二・第三放課後児童クラブ室の整備に要する経費 1,055万円

◆農林水産業費では

- ・水産物供給基盤機能保全事業費補助金の内示に伴う排水処理施設の機能保全に要する経費 2億1,800万円
- ・農山漁村地域整備交付金等の内示に伴う漁港施設の改良、機能強化に要する経費 2億7,900万円

- ・水産物供給基盤機能保全事業費補助金等の内示に伴う漁港施設の機能保全に要する経費 2億3,750万円

◆商工費では

- ・文化芸術振興費補助金の内示に伴う石ノ森萬画館の常設展示改修に要する経費 9,200万円

◆土木費では

- ・道路メンテナンス事業費補助金の内示に伴う事業費の予算措置 6億9,800万円
- ・山崎馬鞍線道路改良事業費（中島工区）の社会資本整備総合交付金の内示に伴う事業費の予算措置 6,350万円
- ・防災・安全交付金の内示に伴う事業費の予算措置（三輪田線ほか2路線） 1億9,884万円

◆消防費では

- ・新しい地方経済・生活環境創生交付金の交付決定に伴う指定避難所の環境整備および全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機整備に要する経費 1,933万円

◆教育費では

- ・前谷地小学校屋内運動場の改築に要する経費 4,990万円

各常任委員会審査報告

6月11日の本会議で、条例や補正予算などの議案が審議され、各常任委員会に付託されました。常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

条例・補正予算審査

総務企画委員会



山口 荘一郎 委員長

石巻市職員の育児休業等に関する条例及び石巻市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

AQ 部分休業制度等の職員への周知方法について伺う。

A 休暇制度や手当等が分かりやすいハンドブックを作成し、職員または配偶者の妊娠・出産等の申出時における細やかな説明、職員用のグループウェアへの掲載等により、周知していきたい。

AQ 育児の部分休業の取得状況について伺う。

A 令和7年5月時点で男性3名、女性47名、計50名が取得している。

AQ 令和7年度石巻市一般会計補正予算（第1号）

AQ 公共交通利用促進情報発信業務の内容について伺う。

A 石巻専修大学に事業を委託し、当大学の既存のインスタグラムアカウントを活用の上、学生が写真や動画の撮影、編集、記事の投稿を行う内容であり、若者の感性で公共交通の利便性や本市の魅力を発信することで、公共交通の必要性や理解の醸成ならびに利用促進を図っていききたい。

AQ 防災啓発冊子作成業務の内容について伺う。

A これまでは、行政としての災害対応記録や検証の冊子を作成していたが、本業務においては、発災から1週間程度の公助が届かない期間の自助、共助の経験と教訓をまとめ、災害時の行動に役立てられるよう、A4判、20ページ程度の冊子を作成する内容であり、視察対応やイベントでの配布等のほか、ホームページにも掲載する。



環境教育委員会



千葉 正幸 委員長

石巻市桃生地区小中一貫教育基本構想審議会条例

AQ 小中一貫教育における教育委員会の基本的な方針について伺う。

A 従来から実施している小中連携の取り組みをさらに充実させていくことを第一に、教育の連携や合同行事の実施など、できるところから取り組んでいきたい。

AQ 小中一貫校のメリットについて伺う。

A 学習面においては、9年間系統統的、継続的な学習によって独自のカリキュラムを編成し、教育効果が高まることが期待され、生活面においては、幅広い学年が交流を行うことにより、思いやりの心や規範意識、憧れの気持ちなどの醸成が期待される。

AQ これまでの経緯について伺う。

A 令和5年から3小学校統合の要望がなされ、また、小中一貫教育の推進も求められたことから、調

査や検証を行ってきた。

AQ 令和7年度石巻市一般会計補正予算（第1号）

AQ 前谷地小学校屋内運動場改築事業費のバス借上料の内容について伺う。

A 改築工事期間は屋内運動場が使えないことから、体育の授業や行事の際に、学校と遊楽館の区間を送迎するためのバス借上料である。

AQ 桃生地区小中一貫教育基本構想策定支援業務を委託するコンサルタントの役割、支援業務の内容について伺う。

A 各種資料の取りまとめや、先進的事例の情報収集、基本構想としての冊子の取りまとめである。

AQ 宝くじ文化公演事業委託料および宝くじ文化公演負担金の内容について伺う。

A 自治総合センターが実施する宝くじの貢献広報事業へのエントリーが採択されたことに伴う事業として、委託料は、チケットの売りさばきや当日の運営等を委託するものである。

負担金は、自治総合センターが支払う出演料やポスター、チラシ作成費用等に充当されるものであり、チケット売払収入の半額を負担金として自治総合センターに支払うものである。

Q 文化財ガイドボード等整備事業の内容について伺う。

A 宮城電鉄駅跡や仙北軽便鉄道跡の旧石巻線駅舎、旧内海橋、旧石巻ハリストス正教会教会堂の文化財の説明板4基、旧石巻ハリストス正教会教会堂、旧観慶丸商店へ誘導する案内板3基、計7基を設置する。

保健福祉委員会



鈴木良広 委員長

Q 新型コロナウイルス感染症に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例を廃止する条例

A 条例廃止の経緯について伺う。

Q 介護保険料を更正できる2年の期間が経過したことにより、条例を廃止する。

A 県内各自治体の動向と、該当者への周知方法について伺う。

Q 女川町は、国民健康保険税と合わせて3年後に実施し、東松島市は、廃止に向けて調整していると伺っており、今後の周知方法については、令和5年度、令和6年度は保険料を通常どおり課税していることから、周知は特に考えていない。

令和7年度石巻市一般会計補正予算(第1号)

Q 災害用備品等購入費の内容について伺う。

A 指定福祉避難所の備品として、簡易ベッド40台、パーテーション10台を購入する経費である。また、備品を設置する指定福祉避難所は、高齢者および障害者等の2次避難先となるささえあいセンターである。

Q 釜地区放課後児童クラブが新設されるまでの間、学校の既存施設を使用して対応することにより、25名の待機児童が解消されるのか伺う。

A 令和8年度からは図工室を借用して待機児童を解消する予定である。

Q 生活保護システム改修業務委託の内容について伺う。

A 生活保護の基準改定および被保護者調査の項目変更に伴う改修業務である。

産業建設委員会



星雅俊 委員長

令和7年度石巻市一般会計補正予算(第1号)

Q 農地利用効率化等支援事業費補助金の内容について伺う。

A 農業経営基盤強化促進法に基づき策定した地域計画に位置付けられた担い手に対し、農地引き受け等に必要の農業用機械設備等の導入経費の一部を助成するものであり、今回は二俣地区が採択され、トラクターのアタッチメントや農薬等を散布する機械などの導入経費の一部を助成するものである。

Q 漁港施設改良事業費の工事箇所および内容について伺う。

A 新山漁港で防波堤の延伸、長面漁港でしゅんせつ土砂処分工、前網漁港で船揚げ場改良工および漁港はしごの増設・延伸、折浜、谷川ならびに小網倉、長渡の4漁港で漁港はしごの増設・延伸を行うものである。

Q 創業者持続化事業費補助金の内容について伺う。

A 創業者の持続的発展を目的に、IT導入、販路開拓・拡大、省力化または省人化の取り組みに要する経費の2分の1で、100万円を上限に補助するものである。

Q また、創業から3年が経過し、従業員数20人以下など、指定する従業員数の要件を満たし、国が認定する特定創業支援等事業である創業開成塾の受講証明を受けた者を対象としている。



Q 道路ストック長寿命化事業費の補修設計および点検業務の対象箇所と箇所数について伺う。

A 補修設計は河北地区の味噌作橋、桃生地区の金田2号橋ならびに大橋地区の住吉跨線橋、北上地区の相川トンネルの4カ所、点検業務の箇所数は橋りょう全873橋中、173橋である。

Q 都市計画道路網再検討業務の内容について伺う。

A 路線を整備する優先順位の検討や長期未着手路線の廃止・変更を含めた都市計画道路の見直しが必要なことから、国の街路交通調査費補助金を活用し、見直し対象路線の検証評価、代替道路の有無、見直し対象路線廃止に伴う交通への影響や各種計画との整合、問題点の整理等を行う内容である。

Q 民間建築物吹き付けアスベスト除却等事業費補助金の内容について伺う。

A 昭和31年から平成元年までに施工された民間建築物のうち、店舗や集会場として不特定多数が利用する建築物で、延べ面積300平方メートル以上の非木造建築物を対象とする。

Q また、吹き付けアスベスト分析調査費は、補助率10分の10で、25万円を上限に、除却工事費は、補助率3分の2で、120万円を上限に、それぞれ補助するものである。

一般質問

議員22人が登壇

市政を問う!

第2回定例会の一般質問は、22人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただし、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが、市当局の答弁に基づき記事の編集を行っています。

議論の様子は、録画映像でもご覧になれます。

一般質問通告一覧（質問順）

①阿部 和芳（日高見会） 1 市長の政治姿勢について	⑫阿部 正春（無会派） 1 空き家対策について 2 市街地の公共交通について
②早川 俊弘（ニュー石巻） 1 下水道事業経営戦略について 2 25年春の就職状況について	⑬高橋 憲悦（石巻市民クラブ） 1 「持続可能なまち」を実現するための実践について
③木村 美輝（石巻あかつきの会） 1 災害危険区域の設定について 2 原子力防災訓練の実施検証について 3 火災発生時の防災行政無線の運用終了について 4 当初予算について	⑭宇都宮 弘和（石巻風の会） 1 三陸沿岸道路について 2 石巻市の海岸美化について 3 投票率について
④阿部 浩章（ニュー石巻） 1 本市における稼ぐ力の持続的発展について	⑮都甲 マリ子（日高見会） 1 少子化対策について
⑤齋藤 澄子（無会派） 1 アイトピア通り渋滞緩和について 2 石巻市図書館について 3 乾式貯蔵施設建設について	⑯渡辺 拓朗（公明会） 1 石巻市環境審議会答申について 2 超高齢社会の補聴器について 3 産業振興について
⑥千葉 正幸（ニュー石巻） 1 空き家について 2 選挙の投票時間について 3 有害鳥獣対策について 4 桃生産業団地について	⑰櫻田 誠子（公明会） 1 骨髄ドナー休暇制度の普及啓発について 2 動物愛護について 3 磯焼け対策について
⑦星 雅俊（日高見会） 1 津波避難計画について 2 石巻市総合運動公園陸上競技場基本計画策定について	⑱原田 豊（石巻あかつきの会） 1 保育所での給食提供について 2 青葉、新下前沼地区の雨水対策について 3 釜大街道線の安全対策について
⑧楯石 光弘（日高見会） 1 新たな時代の公民館と本市の将来像について 2 協同組合の価値と振興について	⑲阿部 正敏（石巻風の会） 1 地区防災計画の進め方について 2 学校における地区防災計画の進め方について 3 地区防災計画における地域と市の情報の共有について
⑨我妻 久美子（石巻風の会） 1 須江における火力発電所設置事業について	⑳谷 祐輔（石巻風の会） 1 石巻市のシティプロモーションの深化に向けた取組みについて
⑩鈴木 良広（公明会） 1 本市で発信された熊の出没情報について 2 地域コミュニティ形成の課題について	㉑阿部 久一（ニュー石巻） 1 災害援護資金貸付について 2 二地域居住推進について
⑪佐藤 雄一（無会派） 1 イスラム教土葬墓地問題について 2 ワクチンとその危険性について 3 教科書の採択について 4 オーガニックについて	㉒後藤 兼位（石巻風の会） 1 行財政運営について



阿部 和芳
議員

日高見会



問 石巻市長選挙は新市発足後で過去最低の36・91%となった。今回から投票区と投票所の再編を行い、これまでの105投票所から79投票所に削減、有権者数や地域の広さに応じて投票所を新設・廃止にしているが、影響はなかったのか。結果をどのように捉えているか。

答 期日前投票所の新設や移動式期日前投票バス運行などアクセス向上策を導入し、これらの措置で期日前投票の利用増加や高齢者・障がい者への配慮、職員の効果的な配置をした。影響は把握していない。

問 若年層の投票率向上や「家族で選挙に行こうキャンペーン」など全国事例に倣い、新たな策の実施と市長の「オール石巻」を呼びかけることが重要だと思うがどうか。

答 先進事例を参考に、投票率向上に努める。

問 投票立会人の負担を軽減し、職員の時間外手当を削減する狙いがある投票時間の繰り上げについて、市町村選挙管理委員会の判断で、終了時間を4時間まで繰り上げられるが、働き方改革を含め、繰り上げ投票を来年の市議会議員選挙から実施すべき。

答 宮城県内7割で実施しているので、本市も影響を鑑み、適切な時期に十分な周知期間を置いて実施していく。

問 公約・所信表明の中から、人口減少に対しては4年前から毎年約2千人の人口減少が続く、具体的施策の実施を願う。各種アンケート結果などを参考に、コンサル頼みが目立っている。財政改革を進めながら各種事業に取り組むには、しっかりとした覚悟が必要だ。宮崎市の多様なプロジェクトはコンサルを入れずに、徹底した議論で実現している。しっかりとした考えとブレない政策を願う。



早川 俊弘
議員

ニュー石巻



下水道事業経営戦略について

問 将来人口等を見据え、今年度までに石巻市生活排水処理基本構想を見直すとしていたが、進捗について伺う。

答 地区別の将来人口等を推計し、この値を基に集合処理区域の決定など、事業手法の選定作業を進めている。

問 社会情勢の変化にに応じ、都道府県が生活排水処理施設整備の構想を見直した結果、全国的に下水道計画区域が縮小し、浄化槽区域への転換が進んだが、見解を伺う。

答 宮城県の構想に基づき、本市の社会情勢の変化に対応するよう、下水道計画区域の縮小等も含め、効率的な整備等を目的に進めていきたい。

25年春の就職状況について

問 令和7年3月の高校卒業生の就職先は秋田県を除く5県で県外割合が前年より高まった。本市の高校生と大学生の就職の現状について伺う。

答 管内高校生の宮城県外就職率は20・7%、石巻管内就職率46・0%、県内他管内就職率33・3%、石巻専修大学の石巻圏域への就職学生割合は3年間平均1割程度である。

問 地元就職率を高めるための支援について伺う。

答 地元企業を選出した市内居住者には、定住促進奨学金返還支援事業、医療・介護・福祉分野へ就職した市内居住者には奨学金返還支援事業を活用いただくなど地元定着につなげることや、企業誘致に当たり、立地の後押しとなる助成制度を研究し、誘致につなげていく。



木村 美輝
議員

石巻あかつきの会



問 原子力防災訓練の実施検証について伺う。

答 訓練の成果や課題等は県や関係機関と情報共有している。実効性を高める訓練の実施に努める。

問 情報共有のみならず、議論して災害時に役立つ訓練にしてほしい。

問 火災発生時の防災行政無線の運用終了の経緯について伺う。

答 消防団員への火災現場地図を送付したメールによる情報の周知、消防団幹部から団員へ電話、LINEグループによる連絡網により、招集方法が確立していることから防災無線を終了する。

問 消防団員以外への周知も必要と思うが、見解を伺う。

答 苦情や問い合わせが少なからずある。

問 防災行政無線と電話、LINEの二段構えがいいと思うが見解を伺う。

答 システムの更新が令和8年1月にある。そのため、その前の令和7年10月1日をもって運用終了する。

問 防災行政無線運用終了を検証し、見直した方がいいと思うが、見解を伺う。

答 運用終了は令和7年10月に一度行う。その上で大きな問題、支障があるなら検証して見直す。

問 ロゴマーク活用事業補助金はポスターなどの一部にロゴマークを入れることにより、補助対象となるのか伺う。

答 最小使用サイズや表示色などを「ロゴマークデザインマニュアル」で定めている。

問 ダンスフェスティバル負担金の経緯について伺う。

答 本市が主催し、ダンスがスポーツとして認知され始めたことから負担金を出した。

問 このような事例を作ったので、ほかの競技からの意見や連絡も来ると思うので対応をお願いする。



阿部 浩章
議員

ニュー石巻



本市における稼ぐ力の持続的発展について

問 ホタテ養殖の地産栽培等の経営基盤が緊急性を要する場合、予算措置も含め柔軟でスピード感ある対応が必要と思うがいかがか。

答 緊急性を要する場合は、少しでも救済できるように、宮城県等と連携しながら、必要な支援策を検討したい。

問 6次産業化・地産地消推進センターの役割は大きいですが、まだまだ認知度は低いため、ホームページだけでなく、JAやJF等の各業界が一丸となった啓発・普及に取り組んではいかがか。

答 ご指摘のとおり、各団体も含め周知していきたい。

問 令和3年第2回定例会一般質問において、市と金融機関等が将来取引先となる可能性の高い事業等を検討する会議体の設置の必要性を質問し、検討する旨、回答を得たがその後の進捗はいかがか。

答 同年に「石巻市産業連携会議」を設置し、各機関との情報交換・意見交換を行うため、年2回程度開催し、その中で石巻市産業振興計画の実施状況も議論している。

問 本市の中で「生産・販売」「分配」「支出」の面でお金を回していく「地域循環経済」を目指すべきであり、そのための「地域経済循環分析」は必要と思うがいかがか。

答 ご指摘のとおり、市内で安定してお金が回れば関連企業の収益が向上すると考えられるため、この分析は有効な手段の1つではあるが、実施については研究が必要と考える。



齋藤 澄子
議員

無会派



アイトピア通り渋滞緩和策について

問 休日等イベントがあると渋滞が発生し、市民は困っている。渋滞緩和策について伺う。

答 ゴールデンウィーク期間中は誘導看板の設置や交通誘導員を配置したほか、かわまち交通広場と南浜復興祈念公園とを結ぶシャトルバスを運行させた。

問 星薬局前の信号機が歩車分離式になっているため、赤信号の待ち時間が長い。一方通行の車道をセンサー式に変え、アイトピア通りの車両の流れを良くするべきではないか。

答 渋滞原因の分析、設置に係る諸条件および効果予測について石巻警察署へ相談していく。

石巻市図書館について

問 今年で建設から52年も経ち老朽化は否めない。今後図書館についてどのように考えていくのか。

答 当面は長寿命化対策として部分的な改修工事を行いながら、令和13年以降に改築・建て替えを検討する計画となっている。

問 令和13年以降の計画ではまだまだ時間がかかり遅すぎる。ささえあいセンターは駅にも近いこともあり、多くの学生が勉学に励んでいる。今ある建物を活用してささえあいセンターを図書館にすれば、公共交通の利用者の待ち時間など、多くの市民が利用しやすいくなり、中高年層の居場所づくりにもなるのでは。

答 地域共生社会を推進する拠点施設として管理運営をしているので、図書館に活用することは検討していない。引き続き教育委員会と連携を図りながら、市民サービス向上に努める。



千葉 正幸
議員

ニュー石巻



投票時間について

問 4月27日の栗原市、登米市の市長選挙等の投票時間は午後7時までに繰り上げて行われた。本市は午後8時までだったが、今後は投票時間の繰り上げができないか伺う。

答 令和6年の衆議院議員総選挙は県内35市町村のうち、24市町村が1、2時間繰り上げた。本市も繰り上げすべき時期と認識しているが、十分な周知等を踏まえ実施時期を判断したい。

有害鳥獣について

問 ニホンジカやイノシシの捕獲は猟友会石巻支部と河北支部に委託しているが、昨年の捕獲状況を伺う。

答 石巻支部はシカが793頭で銃猟捕獲531頭と多く、河北支部は1285頭でわな捕獲が976頭と多い。イノシシは石巻5頭、河北47頭でわな捕獲である。

問 石巻と河北の捕獲頭数や捕獲方法の違いを伺う。

答 河北は岩手県五葉山系のシカが移動してきている。また、河北にはわな隊員が多い。

問 シカはわな捕獲が多く、イノシシは全てわな捕獲であるため、わな隊員を増やすべきと思う。改正鳥獣保護管理法が9月1日施行予定だが、危険鳥獣のヒグマ、ツキノワグマ、イノシシが市街地に出没した時、市町村の判断で猟銃の使用が可能となるが、猟友会との連携について伺う。

答 猟友会とは情報を共有する。

産業団地について

問 引き続き桃生産業団地実現に取り組むのか伺う。

答 2期目も先頭に立ち、桃生地区への企業立地の実現を進める。



星 雅俊
議員

日高見会



地区防災計画

問 令和5年策定「市津波避難計画」は、区域ごとに早期避難開始の徒歩避難困難者を計1万1153名と推定。地域説明会から2年以上経過するが、計画策定が進まない原因は何か。

答 原因は、車避難のルール作り、避難者の割り振り等の対策が、地域では困難と思われる。

問 車避難対象者が各地域で違うことは、不公平感が生じる。車避難対象者や駐車場確保は、誰がどのように検討するのか。

答 車避難対象者は、避難行動要支援者や徒歩避難困難者等と見込む。
駐車場の確保は、市も協力して地域で計画策定の中で検討する。

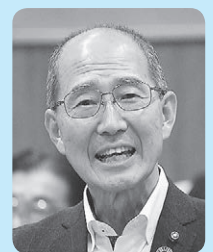
陸上競技場基本計画策定

問 基本計画は、令和5年度コンサルタントに業務委託し、成果品の概算工費は、設計費込み約72・6億円とし委託料2255万円を支払い済み。概算工費等は、市が考える金額よりも大きく、今後、再度減額調整すること。本来、コンサル業務委託は、予算繰越で期間を延長して完成させるべきではなかったのか。

答 契約仕様書の一部変更し、民間懇談会の理想的規模を盛り込んだ場合の事業費額で契約書に基づき適正に業務を完了した。

問 基本計画の概算事業費は、減少調整後の事業費とすべく、無駄な委託費。コンサル業務の仕様書と完成検査の在り方について、監査委員に市から監査請求し、所見を伺ってはいかがか。

答 身の丈にあった事業費や仕様書等の監査員の関わりについて、皆さんが納得するように検討する。



楯石 光弘
議員

日高見会



新たな時代の公民館と本市の将来像について

問 約半世紀前、右肩上がりの時代、若者も多く青年団活動も公民館をよりどころとして県内有数の活発さであった。本市の公民館の役割と実績は。

答 社会教育の要である学、集、つなぐ、生かす機能を実践する拠点。地域と連携し、環境美化「いきいき花のプロジェクト」や子育てサロン「いしっこクラブ」等が親子との交流、子育て相談、心のケアなど、活発に行われたことが認められ、令和5年、文部科学大臣より優良公民館として表彰された。

問 大震災を乗り越え、絞り出された本市の将来像「ひとりひとりが多彩にきらめき共に歩むまち」への思いについて伺う。

答 老若男女、多種多様な人々の多彩な個性が輝き、自然、産業、伝統文化など多彩な資源が活用され、相まってともにきらめくことで、魅力と活力あふれるまちになる。

協同組合の価値と振興について

問 国際協同組合年と国会決議について伺う。

答 国連が定めた二度目の国際協同組合年。協同組合の理念は人を中心とした持続可能で公正な経済社会の実現。引き続き、世界的な社会・経済課題の解決に貢献する存在で、SDGsとも価値を共有。その発展が国を挙げて後押しする事は大変意義深い。

問 いしのまき農業協同組合との連携について伺う。

答 農政のさまざまな分野で連携し、特に米の生産量調節など、地域農業の維持と生産者所得の確保などに取り組んでいる。



我妻久美子
議員

はやて
石巻颯の会

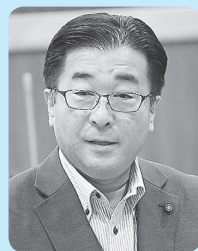


問 須江の火力発電所建設事業について、埋蔵文化財調査、道路問題について状況を伺う。

答 埋蔵文化財調査については、建設予定地は埋蔵文化財包蔵地であるため、確認調査を実施する場合、調査費用は国庫補助を活用しても、残り2分の1は市の一般財源から支出することとなり、地元住民の方々の懸念等が払拭されていない状況の中、一般財源を投じることは市民の理解を得られ難いものと考えている。

また、パーム油を使用する発電所稼働停止の状況が多く見受けられ、事業の確実性にも懸念があり、確認調査に着手することは困難であると考えている。

道路については、令和6年1月31日に開催された事業者側から市への説明会の中で、工事に伴う残土の排出の際に、大規模農道を走行する計画となっていた。大規模農道は大型貨物自動車などは通行止めの規制となっており、大規模農道を通行しなければ目的地に行けない場合のみ許可しており、「通過のみ」の場合については許可をしていない。事業者からの説明のあった走行計画については、「通過のみ」の計画であったため、走行経路についての再検討について指摘したが、1年半以上経過しても新たな提案がなされていない。燃料の輸送経路や工事車両などの交通に関する課題や騒音・振動問題など、住民が抱える疑問や不安への対策を明確に示しておらず、住民の皆様の理解が得られていない中で事業を進めようとしており、誠に遺憾である。



鈴木 良広 議員

公明会



本市で発信された熊の出没情報について

問 市内各地で熊の出没情報が出された。いつ出没してもおかしくない環境にある。目撃情報が市街地に及んでいることを考えれば、看過できない状況にある。学校等に通う子どもたちの安全確保の点からも、公共施設や学校等へ注意喚起（遭遇した場合の対応など）が必要と考える。市民の安心安全を守るための対応策について伺う。

答 野生動物の出没が多い地域の学校においては、今年度から熊の出没を想定した避難訓練を実施した学校もある。今後についても出没時の注意喚起に加え、熊対策に関するチラシの配布等を通じて日頃から意識づけを行い、児童・生徒の安全確保に努めてまいりたい。

地域コミュニティ形成の課題について

問 兵庫県では空き部屋となった公営住宅に地域の学生が割安な家賃で住める「学生シェアハウス」として活用。安く住めるかわりに地域貢献をしてもらう取り組みを行っている。本市でも公営住宅で同様の取り組みができるか伺う。

答 本来の入居対象者の入居を阻害しない範囲で、国からの承認があれば実情に応じた目的外使用も可能。しかし、本市の定期募集倍率は約2倍から3倍で推移しており、多くの方が入居を希望しているため、国からの承認は難しいと考える。今後の応募倍率や空き住戸の状況を注視しながら、機会を捉え協議してまいりたい。



佐藤 雄一 議員

無会派



土葬墓地問題について

問 県知事は土葬墓地建設を「批判があってもやらなければならない」と語っていた。その後の状況を伺う。

答 県からの接触はない。

ワクチンとその危険性について

問 新型コロナウイルスワクチンによる予防接種健康被害救済制度の申請件数、認定件数を伺う。

答 令和7年5月22日時点で、全国の申請件数は1万3675件、認定件数は9161件で、本市の申請件数は15件、認定件数は11件。

問 本市の接種者数を伺う。

答 1回目接種は12万531人、2回目は12万17人、3回目は10万3681人、4回目は7万7562人、5回目は5万3539人、6回目は3万5974人、7回目接種は2万6323人。

問 HPV（子宮頸がん）ワクチンの危険性について。国は、令和4年4月から積極的勧奨を再開した。約10年前に多くの健康被害を出してから、安全性が確認できないとして、いったん接種が中止されたものである。今も重篤な副反応に苦しんでいる全国の被害者を置き去りにした再開である。本市の接種状況を伺う。

答 昨年度1回以上HPVワクチンを接種した延べ人数は3238人。

問 HPVワクチンも副反応疑いの報告が非常に多いワクチンである。これを男子にまで接種を進める動きがある。本市でも進めているのか伺う。

答 本市では、男性への接種は行っていない。



阿部 正春 議員

無会派



空き家対策について

問 水産業では海外からの働き手がないと船も出せない現状になっている。半島部は災害危険区域で住居を確保することができないため、海外からの働き手を確保することが難しい。この空いた復興住宅を働き手の住まいとして活用できないか伺う。

答 国の承認を得るには応募倍率が低いこと、空き住戸が多数あることなどの条件が必要で、今後の応募倍率や空き住戸の推移を注視しながら関係部と協議したい。

問 老朽化が進み、周囲に危険を及ぼす物件に工場や商業施設はないのか。空き家等特別措置法で特定空き家に認定するなど改善が見込まれないときは、補助金を使い行政代執行できないか伺う。

答 空き家等特措法に基づく対応は、倒壊の恐れがあるなど保安上著しく危険である場合に、有識者の意見を踏まえ特定空き家等として認定実施することとなる。法令に基づき助言、指導、勧告、命令を行うことが可能となり、行政代執行ができるとされているが、本市では特定空き家に認定した空き家はない。

市街地の公共交通について

問 本市では歩いて暮らせるまちづくりをコンセプトに進めて来たが、今歩いては暮らせない状況になっており、足の課題をどのように考えるか伺いたい。

答 昨年10月に石巻市立地適正化計画を策定。各拠点との連携によるコンパクト・プラス・ネットワークの都市構造を目指しており、今年度から施策の検討体制を整え全庁上げて取り組んでいく。



高橋 憲悦
議員

石巻市民クラブ



「持続可能なまち」を実現するための実践について

問 市長選公約の多くに「持続可能」と表記したことに對する所見について。

答 社会の変化に柔軟に対応し、石巻が輝かしい未来に希望をつなぎ、次世代へ引き継ぐため。

問 遊休地・遊休資産の処分、利活用について。財政健全化を図る上で、当該財産を処分することにより、売却・貸付収入等、翌年から市税として収入となり、一石二鳥の効果が期待できるのではないか。遊休資産は市民の財産であり、積極的な処分・利活用を図るべきである。

答 活用されていない普通財産は、8697件、2793ヘクタールあり、順次売却処分、貸付を行いたい。

問 行財政運営における、①「ヒト」人材育成②「モノ」事務事業の見直し（厳選）、③「カネ」財政状況と今後の見直しについて。

答 ①石巻市人材育成基本方針等で取り組む。②事務事業の総合評価を基に、効率的かつ効果的な取り組みを行う。③時には「やめるといふ引き算の視点をもって、見直しなど効率化を進め、将来世代にも健全な財政基盤の構築に努める。

問 まちづくりの根幹を成す「自助、公助、共助」のうち、「共助」が重要であるが。

答 地域の将来像を一緒に思い描きながら、対話を重ね、住むことに誇りが持てるまちを市民と共に築いていきたい。



宇都宮弘和
議員

はやて
石巻颯の会



三陸沿岸道路について

問 仙台松島道路（利府中インターチェンジから鳴瀬奥松島インターチェンジ）の無償化についての県の見解を伺う。

答 県沿岸部の発展に寄与する重要な路線であるが、橋梁等の長寿命化対策などの維持管理費を見ながら、早期に借入金償還を図る。また、慢性的な渋滞が発生している松島海岸地区を通過する国道45号における、大型車両の流入抑制を行う社会実験の結果や関係団体のご意見を伺いながら、料金サービスの在り方について検討すると回答があった。

本市の海岸美化について

問 渡波地区の長浜海岸に大量に打ち上げられたカキ殻等の原因は何か。

答 要因として、高潮や台風などの荒天時にカキ礁や養殖場でカキ殻が剥がれて、海岸に打ち寄せられるほか、波によって海底から運ばれてくるものと考えられるが、詳しい原因は分かっていない。

問 ゴミ清掃用バギーを活用してはどうか。

答 海岸管理者である県に確認し、現在導入の予定はないと伺っている。

問 貝殻の再利用の研究を進めてみることもいいのでは。

答 民間事業者による活用方法も含め、他自治体の事例について情報収集してまいりたいと考えている。

投票率について

問 投票率の向上に向けて、今後どのように見直しを進めて行くのか。

答 市長選挙を含めて今年3回の選挙執行における投票状況を検証し、有権者の声を調査しながら、支援の充実に向け見直しを図っていく。



都甲マリ子
議員

日高見会



少子化対策について

問 2021年策定の人口ビジョンを上回る少子化が進行し、2060年に人口は6万人弱になることも考えられる。自治体機能の維持の対策について伺う。

答 業務のDX化を進め、市民の来庁なしに行政手続きができたり、場所にとらわれない働き方を推進し、従来の勤務スペースに依存しない行政運営に務めていく。

問 少子化は東アジア全体で進み、韓国・中国・台湾などは日本以上の少子化である。各国共通の要因として「儒教的家族観」が挙げられるが、伝統的な家族観による枠組みではない親子に対する支援を厚くし、少子化の緩和につなげていくべき。

答 各種調査の結果を市が取り組むべき施策に生かしていくよう判断していく。

問 ひとり親家庭の相対的貧困率は長年50%前後だが、離婚した家庭の養育費の立て替え事業ならびに交流面会サポート事業を行い、離婚後も両親が協力して子どもを育てていく環境を整備するべき。

答 ひとり親家庭の支援は重要な課題と捉えており、先自治体の取り組みを学んでいく。

問 選択的夫婦別姓の導入を待つ結婚待機しているカップルが本市では約200組いるとの調査がある。これらの方々に事実婚に移行していただくためのパートナーシップ制度を導入すべき。

答 令和8年度に導入予定のパートナーシップ宣誓制度と合わせ、国の動向も見ながら内容を精査していく。



渡辺 拓朗 議員

公明会



石巻市環境審議会からの答申について

問 国が定める温室ガス削減目標が26%から46%になったことで、石巻市環境審議会から石巻市環境基本計画への答申で地域の温室ガス排出削減目標への取り組みが低評価を受けた。これに伴い具体策が伴わなければならないが、どのように取り組むのか。

答 市民、事業者と連携して2050年温室ガスゼロを目指し、実現に向けた取り組みを新たな石巻市環境基本計画に反映する。

補聴器の購入補助事業について

問 高齢社会に伴い、障がい認定から外れる難聴者から補聴器購入補助金の創設が求められていることにに対し、市は国に予算要望を求めているとしているが、インセンティブ交付金の活用も含めて、その予算は本市の努力で賄える予算であると考えているが、今後の方針を伺う。

答 加齢性難聴は今後も増えるの見込み、実情を把握し耳鼻咽喉科医からも助言を頂き、本市としての支援の在り方を検討する。

中小企業の賃上げについて

問 国は中小企業賃上げ支援に2029年度までの5年間で官民合わせて60兆円投資する。これに合わせて賃上げ支援事業を分かりやすく説明する専門窓口の設置など中小企業の賃上げへもつと積極姿勢で取り組むべき。

答 60兆円の今後の支援メニューを注視しながら、商工会議所や石巻産業創造株式会社と連携し、中小企業に支援メニューを分かりやすく早く伝えるため、体制を整える。



櫻田 誠子 議員

公明会



骨髄ドナー休暇制度普及啓発

問 医療が進歩した現在でも骨髄は人工的に作れない。白血病等血液疾患患者が治療のためにドナーからの骨髄提供が必要。本市の取り組みを伺う。

答 本市で平成30年骨髄バンクドナー支援事業開始。これまで12件の実績。適合する確率は数百〜数万分の1の確率で、仕事の都合がつかず辞退も多い。休暇制度について「石巻骨髄バンクの会」や商工会議所の意見も伺い、制度導入への理解促進に向け周知啓発など検討する。

問 中学校で骨髄移植等、命の尊さを学ぶことが必要。

答 現在、道徳等の授業を中心に命の尊さについて学習。「石巻骨髄バンクの会」も含め諸団体のご協力を賜り、学ばせてまいりたい。

動物愛護

問 令和4年に質問し、去勢手術の財源の確保、相談対応を行うとの答弁からの進捗状況と、公益財団法人どうぶつ基金について伺う。

答 ボランティア団体の方々には深く感謝。どうぶつ基金行政枠はいっぱいと聞く。不妊去勢手術の助成制度実施自治体を参考に、財源の確保を含め引き続き検討する。

磯焼け対策

問 温暖化等により磯焼け被害が大きい本市の取り組みを伺う。

答 宮城県藻場ビジョンに基づき、着底基調の設置、ウニの駆除など藻場再生に取り組んでいる。

問 植食魚などの増加等、各浜での次の手を打つべきでは。

答 現場の状況にあった対策をとる必要があり、国・県および漁業関係者と連携し、諸問題に対応していく。



原田 豊 議員

石巻あかつきの会



保育所での給食提供について

問 給食提供方法を伺う。

答 公立保育施設では、3歳未満児はご飯とおかずの完全給食を提供。3歳以上児はおかずのみ提供し、朝にご飯を持参いただいている。

問 公立保育所の3歳以上児553人はお昼に冷めたご飯を食べている。保護者は仕事や育児に奮闘し白米を持参。保育士も白米持参。主食を提供することはできないのか。

答 食器類や消毒保管設備、炊飯設備、電力、調理員の人手不足も懸念があり、一律に公立保育施設で主食を提供することは、現在は難しい。

問 主食の提供設備費用および食料費保護者負担は月額どの程度になるのか伺う。

答 設備費用は全17施設で約1千万円。保護者負担は主食費約千円。

問 子ども、子育て世代、保育士と3層の受益者は市でも重点的な支援対象者である。前例に倣われず改善を強く求む。

答 状況を的確に把握し、保護者の皆さんの多くの声があれば改善すべき点は改善する必要がある。新たな財源も必要のため、お互い理解できる接点を見いだし、より良い方向に見直していくよう検証を行う。

釜大街道線の安全対策について

問 近々信号機が新設されると聞いているが、設置可否や進捗などあれば伺う。

答 令和7年度中に三ツ股第二復興住宅協の交差点に1基設置する予定。信号機的方式等については、検討中とのこと。

問 大街道小学校沿いの道路に新設された信号機と同等のものを求める。

答 公安委員会へ警察を通じて伝える。



阿部 正敏
議員

はやて
石巻風の会



地区防災計画の進め方について

問 地区防災計画の進め方について、まずは自治会長の理解をどう進めるかが重要であるが、自治会長の仕事は多岐にわたり多忙である。さらに防災計画の作成をお願いすることは難しいのではないか。

答 多忙であることはその通りであるが、自治会によっては役員のなり手が居なくて困っている自治会も存在する。地区防災計画作成は自助、共助、公助の観点から自ら行動し、地域一人一人が考えなくてはならないことなので、逆に自治会の皆さんの協力が得やすい側面があり、自治会活動の活性化につながるものと考え

問 確かに逆手にとつて地域の皆さんに考えていただき、議論に参加してもらえるチャンスになるかもしれない。過日、2期目を目指す市長から山下地区町内会会長連絡協議会の会議において「是非、山下地区において地区防災計画を進めてほしい」との要望が直接あり、ほとんどの会長が好意的に受け止め、今年の事業計画に盛り込むきっかけになった。地区防災計画作成について市長から直接お願いされたことは大きな動機付けになったが、考えはいかがか。

答 自治会長の皆さんのお仕事に日頃から敬意を表している。さらに防災計画作成を進めるに当たり、可能な限り参加してお願いしていきたい。



谷 祐輔
議員

はやて
石巻風の会



石巻の魅力、もっと多くの人へ（戦略的シテイプロモーションについて）

問 本市でシテイプロモーションの取り組みが開始されたが現状を伺う。

答 ロゴマークを公募により制作し、「ロゴマーク活用事業補助金制度」を設け、推進に努めている。

問 「ロゴ」は「まちの良さ」を一目で伝える魔法の図形ではなく、そこにどんな意味を込め、どういう物語を通じて「石巻らしさ」を語っていくかという点が大切である。そこで本市におけるシテイプロモーションの定義と庁内での共有状況を伺う。

答 独自に定めた定義はなく、庁内での共有も図れていない。今後は正式に定義し、庁内での共有を図ることによって官民一体となったプロモーションを目指していく。

問 石巻というまちは、多くの魅力と語られるべき物語をたくさん持っている。そこに市の伝え方は重要で、「どのような言葉」で「どんな価値観や想いを伝えようとしているのか」が今の社会には求められていると考えるが、ソフト面の戦略について庁内ではどのように議論され、検討されているのか。

答 現在の体制では十分な議論や検討ができていない状況である。

問 自治体間競争は激化しており、まちの魅力を伝える努力をしなければ、人も資源も寄ってこない時代になつてきている。そこで庁内の人員や体制を含め、より戦略的なシテイプロモーションを目指すべきではないか。

答 戦略や庁内体制を課題であると捉え、しっかりと取り組んでいく。



阿部 久一
議員

ニュー石巻



災害援護資金について

問 東日本大震災時における災害援護資金貸付に係る償還金の現状について伺う。

答 平成23年度から貸付開始。元金総額約64億円で3064件貸し付けを行っている。令和6年度末現在で約44億円の償還をいただいております。償還免除額を差し引いた残額は約16億7千万円で件数は1400件となっている。

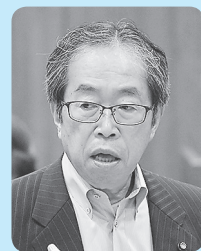
問 市は償還期限延長だけでは管理コストがかさむので、事務費の補助も支援していただくよう国の救済措置など新たな取り組みを模索すべきである。

答 他自治体と連携しながら、管理コストに係る財政措置について、要望していきたいと考えている。

二地域居住推進について

問 ふるさと納税を活用して、二地域居住者が本市へ継続的に納税する仕組みを構築することだが、二地域居住とふるさと納税を関連付けることにより、どのような効果が見込まれるのか。

答 石巻に居住していない方であっても「ふるさと納税」というかたちで本市に貢献していただくことで「納税者」として意識が醸成され、つながりを実感しやすくなり、結果として二地域居住者と市民が共存するような新たな地域モデルの形成につながるものと考ええる。また、ふるさと納税を「地域との関係性を育む仕組み」と捉え、今後の二地域居住の推進に活用したいと考えている。



後藤 兼位
議員

はやて
石巻風の会



未利用市有地の管理の現状と課題

問 未利用市有地の売却方法を改め、民間不動産業者を活用して売却の効果を高めるべき。

答 維持管理が財政負担となる現状を踏まえ、民間不動産業者の活用を含めた新たな売却手法を検討する。

問 民間での活用促進のため、財産情報を公開する仕組み、いわゆる財産カルテの導入について、透明性確保の方針を伺う。

答 財産カルテを活用し、民間での検討が進む環境を整備するため、他市の事例を参考に研究を進める。

問 未利用市有地を有効活用するため、民間不動産会社や地域ニーズに応じた多角的な取り組みを検討する必要と制度設計について伺う。

答 未利用市有財産を積極的に活用し、売却や貸し付けを通じて財源確保と地域活性化を目指す。他自治体の事例を参考に、民間との連携や新たな活用方法を検討し、成果を生む取り組みを推進する。

水産加工業の原料不足

問 地球温暖化による漁獲量減少を踏まえ、水産加工業の持続性確保に向けた具体的対策と「完全陸上養殖」の進捗・効果は。

答 水産加工業の原料確保を目的とし、漁船への奨励や新規誘致を実施する。完全陸上養殖では、県水産高校および一般社団法人おしかの学校とのサバの陸上養殖に関する連携協定を締結するなど、普及促進に努めている。効果は環境制御により、原魚供給不足の解消、品質安定化、病気抑制などの効果が期待される。

表紙から



6月10日、第2回定例会開会前に、第32回石巻市議会議場コンサートを開催しました。

Showboysのギターにより、Showboysのテーマ、ランナウェイなど4曲を演奏していただき、ランナウェイでは議員も手拍子で参加しました。

次回の議場コンサートは議会報告会と併せた開催を予定しており、20ページに詳細を掲載しておりますので、ぜひお越しください。

議会の動き 令和7年

＜4月＞

14日 大阪府八尾市議会行政視察来石
23日 総務企画委員会
環境教育委員会
保健福祉委員会
産業建設委員会
総合防災対策特別委員会
地域交通対策特別委員会
少子化対策特別委員会
28日 当選議員説明会

＜5月＞

1日 無会派(佐藤雄一議員)研修会参加(～2日)
7日 議会組織運営等説明会
9日 愛知県豊橋市議会行政視察来石
13日 石巻風の会行政視察(～16日)
無会派(佐藤雄一議員)研修会参加(～14日)
14日 公明会行政視察(～16日)
石川県議会行政視察来石

14日 栃木県さくら市議会行政視察来石
15日 宮城県議会行政視察来石
17日 無会派(佐藤雄一議員)研修会参加
19日 議会運営委員会
無会派(佐藤雄一議員)研修会参加(～20日)
20日 埼玉県所沢市議会行政視察来石
21日 第2回臨時会本会議(開会、議席指定、常任委員・特別委員選任、議案審議等、閉会)
22日 富山県南砺市議会行政視察来石
26日 産業建設委員会意見交換会
28日 中央要望(～29日)

＜6月＞

6日 議会運営委員会
広報広聴委員会
9日 総合防災対策特別委員会
10日 第32回議場コンサート
本会議(開会、所信表明、提案理由説明等)

10日 全員協議会
11日 本会議(条例案、予算案等審議)
総合防災対策特別委員会
地域交通対策特別委員会
少子化対策特別委員会
13日 総務企画委員会
環境教育委員会
16日 保健福祉委員会
産業建設委員会
17日 議会運営委員会
議員定数等調査検討特別委員会
19日 本会議(一般質問)
20日 本会議(一般質問)
24日 本会議(一般質問)
25日 本会議(一般質問)
議員定数等調査検討特別委員会
広報広聴委員会
26日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)
議会改革推進会議

全国市議会議長会第101回定期総会表彰

5月20日、東京都内で全国市議会議長会第101回定期総会が開催され、次の方々が表彰されました。
そのため、6月10日の第2回定例会本会議において、表彰状および感謝状の伝達が行われました。
受賞誠にありがとうございます。

特別表彰（市議会議員在職25年以上）



安倍 太郎 議員



後藤 兼位 議員

一般表彰（市議会議員在職15年以上）



遠藤 宏昭 議員



山口 荘一郎 議員

感謝状（全国市議会議長会評議員）



安倍 太郎 議員



遠藤 宏昭 議員

令和7年 第2回臨時会 (令和7年5月21日開催)

市議会議員補欠選挙に伴い、補欠当選議員の議席の指定、常任委員・特別委員の選任を行ったほか、左記の議案を審議し承認等を行いました。

提出された議案と審議結果



その他

(承認、異議がない)

・専決処分報告並びにその承認を求めることについて

(石巻市市税条例の一部を改正する条例)

(石巻市都市計画税条例の一部を改正する条例)

(石巻市市税特別措置条例の一部を改正する条例)

(石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

(東日本大震災に伴う石巻市国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(東日本大震災に伴う石巻市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例)

(石巻市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)

(令和6年度石巻市一般会計補正予算(専決第3号))

(令和6年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(専決第1号))

・議員派遣について

人 事 (同意)

・監査委員を選任するにつき同意を求めることについて

↓大塚智也氏、清水俊雄氏を選任することに同意

・教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて

↓梶谷美智子氏を任命することに同意

新しい市議会議員をご紹介します



阿部 正春 議員

- ・議席番号 6 番
- ・常任委員会 環境教育委員会
- ・特別委員会 地域交通対策特別委員会
- ・会派 無会派
- ・住所※ 渡波
- ・生年月日※ -



佐藤 雄一 議員

- ・議席番号 12番
- ・常任委員会 総務企画委員会
- ・特別委員会 総合防災対策特別委員会
- ・会派 無会派
- ・住所 北村字天塩1-2
- ・生年月日 昭和54年9月1日

※本人の希望により、一部表示または非表示としています。

第2回定例会に提出された陳情

■再審法改正を求める意見書の採択について(陳情)

(陳情者) 仙台弁護士会 会長 千葉 晃平

■診療報酬及び介護報酬の抜本的引上げ等による労働者の処遇改善と医療機関や介護施設の経営改善を求める陳情書

(陳情者) 宮城県社会保障推進協議会 会長 岩倉 政城

宮城県民主医療機関連合会 会長 船山 由有子

■加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度創設等を求める陳情書

(陳情者) 全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 芳賀 芳昭

※これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

令和7年度 中央要望

5月28日、29日に本市の施策に関する中央要望活動を下記のとおり実施いたしました。

◆要望先

文部科学省、内閣府（地方創生担当）、国土交通省、経済産業省、農林水産省、厚生労働省、財務省、外務省、総務省、環境省、復興庁

◆出席者

齋藤正美 市長、遠藤宏昭 議長、西條正昭 副議長、
山口莊一郎 総務企画委員長、早川俊弘 総務企画副委員長、千葉正幸 環境教育委員長、
我妻久美子 環境教育副委員長、鈴木良広 保健福祉委員長、都甲マリ子 保健福祉副委員長、
星雅俊 産業建設委員長、勝又和宣 産業建設副委員長

要望事項		要望先	文部科学省	内閣府 (地方創生)	国土交通省	経済産業省	農林水産省	厚生労働省	財務省	外務省	総務省	環境省	復興庁
1	使用済み燃料再処理施設の早期整備					○			○				
2	緊急防災・減災事業債の期間延長と拡充								○		○		
3	人口減少対策の推進			○					○				
4	被災者支援総合交付金に代わる財政支援								○				○
5	テレビ共同受信施設に係る維持管理費等補助制度の創設								○		○		
6	容器包装と製品プラスチックの再商品化に係る自治体の負担軽減								○			○	
7	国民健康保険の財政支援措置強化							○	○				
8	介護従事者の働く環境整備							○	○				
9	加齢性難聴者への補聴器購入費用助成制度の創設							○	○				
10	介護報酬の算定に係る「中山間地域等に居住する者へのサービス提供体制加算」の見直し							○	○				
11	民生委員活動に対する財政的支援							○	○		○		
12	津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金の更なる延長					○			○				○
13	二重ローンの返済時における柔軟な対応					○			○				○
14	みちのく潮風トレイルの環境整備								○			○	
15	A L P S 処理水の海洋放出への対応					○	○		○	○	○		○
16	漁港海岸保全施設の遠隔操作システムに係る維持管理経費の財政支援						○		○				○
17	水産業に従事する外国人労働者の宿舍等整備に対する補助制度の創設						○		○				○
18	国土強靱化と地方創生を推進する道路整備予算の確保、石巻新庄道路の早期実現および国道108号石巻河南道路の整備推進					○			○				
19	仙台塩釜港石巻港区の防災機能強化					○			○				
20	国道398号石巻バイパス（沢田工区）の整備推進					○			○				
21	雨水排水施設に係る維持管理経費の財政支援					○			○		○		○
22	公立病院の経営安定化のための財政支援								○		○		
23	遠距離通学費の財政措置		○						○				
24	学校給食費に係る無償化		○						○				

令和6年度政務活動費の支出状況

会派名	ニュー石巻	石巻風の会	日高見会	公明会	石巻あかつきの会	石巻市民クラブ	無会派 (齋藤澄子議員)	無会派 (遠藤宏昭議長)
人 数	7	7	4	3	3	2	1	1
交 付 額	2,970,000	2,520,000	1,440,000	1,080,000	810,000	540,000	360,000	270,000
研 究 研 修 費	112,040	2,520,993	40,000				10,000	15,959
調 査 費	2,630,289	159,764	974,882	934,209	555,269	417,980	175,330	74,650
資 料 費			92,226				32,395	37,895
広 報 広 聴 費								
人 件 費								
要望・陳情活動費	281,908							38,900
会 議 費								
その他の経費	6,932		12,032	76,685	253,026	36,256	35,000	6,744
支 出 計	3,031,169	2,680,757	1,119,140	1,010,894	808,295	454,236	252,725	174,148
残 金	▲61,169	▲160,757	320,860	69,106	1,705	85,764	107,275	95,852
備 考								

(注1) 残金は市に返還済みです。また、不足額は議員の自己負担となっています。

(注2) 議長は、申し合わせにより無会派となります。

政務活動費とは

議員の調査研究活動における必要な経費の一部として、
石巻市議会政務活動費交付条例に基づき交付されています。

交付の対象 会派（無会派を含む）

交付する額 1人につき、年額36万円（月額30,000円）

※領収書などの写しを市ホームページで公開しています。

政務活動費の支出状況

会派別政務活動費執行状況



政務活動費使途基準

研究研修費 研究会・研修会を開催するための経費や他団体の開催する研究会・研修会に参加するための経費

調査費 先進地調査、または現地調査にかかる経費（食事代を除く）

資料費 資料の作成および購入にかかる経費

広報広聴費 調査研究活動や議会活動および市政について市民への広報にかかる経費、会派が市民からの市政および会派の政策などに対する要望、意見を聞くための会議にかかる経費

人件費 調査研究活動を補助する職員を雇用する経費

要望・陳情活動費 会派要望・陳情活動を行うために必要な経費

会議費 会派や団体などが開催する意見交換会や各種会議への会派としての参加に要する経費

その他経費 上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費

本会議・常任委員会を動画で配信しています

市議会ホームページから

『市議会YouTube配信(ライブ中継・録画映像)』
をぜひご視聴ください



本紙面の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の映像をご覧いただくことができます。

次回(令和7年9月)定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 13:00 本会議 開会 提案理由説明	5 10:00 本会議 議案審議	6
7	8	9 10:00 総務企画委員会	10 10:00 環境教育委員会	11 10:00 保健福祉委員会	12 10:00 産業建設委員会	13
14	15 敬老の日	16	17	18 10:00 本会議 一般質問	19 10:00 本会議 一般質問	20
21	22	23 秋分の日	24 10:00 本会議 一般質問	25 10:00 本会議 一般質問	26 10:00 本会議 一般質問 追加議案審議 閉会	27

議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で
生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

公式な記録である会議録は、市ホームページや
図書館、議会図書室でご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

- 第2回定例会ライブ中継の視聴回数 2,375回 (令和7年6月10日～6月26日)
- YouTube録画中継の視聴回数 6,530回 (令和7年4月～6月末)



議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、原則として市民の皆さんに広く公開しており、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。

特に本会議は、市民の皆さんが選んだ議員全員によって構成され、皆さんの生活に直結した議案などを審議し、議会の最終的意思を決める会議であり、議員の発言や市長の考え方などを直接見聞きすることができますので、ぜひ傍聴にお越しください。

本会議の一般席は44席、車いす使用者席の特別席は4席、委員会の一般席は10席で、先着順にご案内いたします。
※団体での傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。

傍聴のしかた

受付場所	本会議・委員会開催日の市役所6階にある議会事務局まで、お越しください。 ※本会議の開会時間は原則として、開会日は午後1時、2日目以降は午前10時です。
受付方法	議会事務局の受付で議会傍聴受付票に住所・氏名を記入していただき、議会傍聴証を受け取ってから、傍聴席に入場してください。

議会報告会2025

行ってみっちゃ議会

(Welcome to 議会)

11月15日(土曜日) 13:00~

市役所6階 議場

議場コンサート

13:00~13:30

出演者：恋の炎サクソフォンカルテット&more

議会報告会（常任委員会活動内容の報告）

13:40~14:40

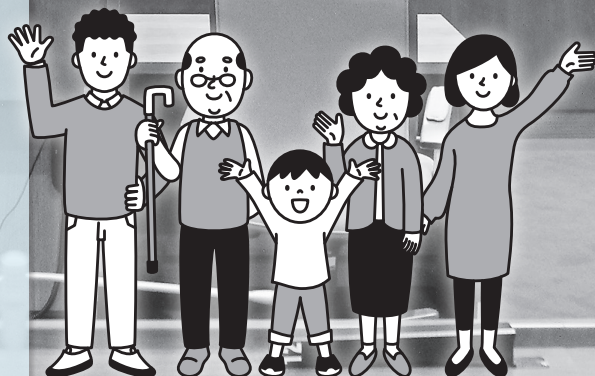
総務企画委員会、環境教育委員会
保健福祉委員会、産業建設委員会

議事堂見学会

14:40~15:00

・議場、正副議長室、委員会室を自由に
見学していただけます。

※写真撮影も可能です。



編集後記

第2回定例会では、4月の市長選挙において再選された齋藤市長の所信表明があったほか、補正予算、条例議案などが審議されました。

また、このたびは同日行われた市議会議員補欠選挙においてご当選された2議員も出席されて、約2年ぶりに30名体制での議会の開催となりました。一方、議員定数については来年の改選時から2議席削減が第1回定例会で議決されております。

人口減少の世相の中、限られた予算の中で地域の皆様方の声を市政に反映していくための活動に今後とも努めてまいります。市民の皆様からのご意見もぜひ、お待ちしております。

広報広聴委員会 委員 都甲 マリ子

DATA 市総人口：131,007人【男：63,672人/女：67,335人/世帯数：62,510世帯(令和7年6月末日現在)】

発行／石巻市議会 編集／広報広聴委員会 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号 ☎0225-95-5080 印刷／(株)鈴木印刷所
再生紙としてリサイクルできます。「ざつがみ」類に分別してください。